
濁る日

葵 景子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

濁る日

【Zマーク】

Z8034A

【作者名】

葵 景子

【あらすじ】

犯す、犯される、の、濁りの世界や、繰り返される犯しの話題。
。奴隸化された女の子の話。

前置き。第一話

私たちはただ、濁っている水のなかに放り出されてるだけなんだ。

ある日、絶対にそうゆう事をしないような人が、罪を犯してしまった。

彼は、自分がやつたというが、周りの人々によつてアリバイがないにしろ、罪に問われはしなかつた。

またある日、絶対にそうゆう事をしそうな人が罪を犯してしまった。彼は自分はやつてないと言い張つたが、周りの人々によつて罪に問われた。

この2つの事は、どちらも周りに影響を受けて成つたことである。

私たちの世界では、今日も黒に近い色の水があなた達を取り巻いている。

濁つた田々を過ぎしながら。。

必ずと言つていいくほど、今の世の中には犯罪がある。強姦もその一つだ。

あるA子さんの話。

とてもこわかった。そして、もう一度とこんな思いはしたくない、と言つていた彼女。

いつたい彼女に何があつたのか??彼女は夏に、以前メル友として出会つた少年とデートをしていた。

初めは水族館、次は映画館。

そして、3度目のデートの時に事件は起つたのです。

「いやっ。やめて。何で？？」「んな。いきなり。やめてよっ。やめて！！」

彼女は必死に抵抗しましたが、さすがに少年の力には勝てず、とうとう犯されてしまいました。

「はう。。うう。。」

彼女はその日から少年の奴隸になってしまったのです。

”この犯されている全裸の写真を撒き散らされたくなかったら”と脅されたために。。。

「やあ、お田覓めかい？？」

朝起きたら、私は知らない広いマンションにいた。

「えっ。。。あつ！！！」

私は、この人の奴隸になってしまったことを思い出した。

「その顔付きじゃあ、忘れないんだね。。。」

男はゆっくりとにじり寄つて来た。

彼は近づいてきて、いきなり笑顔になるといつ言った。

「朝ご飯ができるから、食べて。」

私はゆっくりベッドから降り、彼に誘導されて、テーブルまで行った。

「ゆまちゃん、可愛いね～。こんな格好しちゃって。俺に犯つて欲しいんだ？」

私は、ゆっくり自分の体を見た。

「えつ　？」

私の姿は、上がちょうど胸がはみ出るようになつて縄で縛られていて、ボレロのようなものを着ていた。ブラはなし。

そして下は、パンツの見えているくらい短いスカートと、編みタイツ。

「これ。。。あたしのじゃない。」

恐怖と胸の痛みが今更のように込みあがる。彼はにこやかにこちらを見ているだけだ。

「これ　！！」

あたしが彼に言おうとしたらい、口をいきなり塞がれた。

「あうつ。ふうんつ。」

唾液が口から垂れる。

「まじ、濡れすぎ。口すぎるから。」

そういうて彼は大事なところを触つてくる。

「いやあつ！……やだあ！……あうつ、やだよおつ……はうう

んつ。。。

恥ずかしいことに、指だけでイッてしまつた。

「まじ、おまえヤバいよ。この格好も可愛いし。。」

何度も何度も何度も何度もイカされて、あたしは奴隸人生を歩んで
いる。

濁つた人生を歩みながら。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8034a/>

濁る日

2010年10月15日23時54分発行